

「保健医療科学」 第74巻 第3号 予告

特集：日本の健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブをはじめとする食環境整備の現状とこれから（仮題）

健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブの背景・意義（仮題）…………… 清野富久江
国立健康・栄養研究所での取組～食環境整備推進のための産学官等連携共同研究プロジェクト～（仮題）

…………… 瀧本秀美

栄養政策等の社会保障費抑制効果の評価に向けた医療経済学的な基礎研究（仮題）…………… 西信雄

経済的観点からみた食環境整備の重要性～ESG投資の観点から～（仮題）…………… 夫馬賢治

兵庫県における食環境整備の取組み（仮題）…………… 諸岡歩

職場の食環境づくり：保健所の特定給食施設指導を活用した勤労者の減塩の試み（仮題）…………… 坂口景子

国立保健医療科学院での取組み～栄養関連の研修および研究の観点から～（仮題）…………… 和田安代

編集後記

本号が読者の皆様のお手元に届く頃、日本では再び暑い季節が始まろうとしているのではないだろうか。本号では、今や世界的な健康課題ともいえる「熱中症」を特集テーマとしてとりあげた。気候変動適応法の改正の概要や地方自治体の取り組み、職場や学校での対策、最新版の熱中症診療ガイドラインの概要、最新技術の活用事例や諸外国の熱中症対策など、来る夏に備えて改めて知っておきたい熱中症対策の最新動向を幅広い視点で論じた解説、原著、総説が掲載されている。本特集の副題にあるように、近年の異常気象は「New Normal(新たな日常)」と称されるほど厳しいものとなっている。本特集が、多くの読者にとって、熱中症対策の知見や認識のアップデートの機会となることを期待したい。

本号には上記特集のほか、原著1件と国立保健医療科学院の研究課程及び専門課程の令和6年度の修了者等による研修報告が8件掲載されている。こちらについてもぜひご一読いただきたい。

最後に、令和7年度（本号）より本誌編集委員会は新体制となった。70年を超える歴史を受け継ぎつつ、公衆衛生の多様な課題の解決に向けた道標となるような雑誌を、読者の皆様とともにつくっていきたいと考えている。これからも本誌を温かく見守っていただけると幸いです。

（健康危機管理研究部 富尾淳）